

積算協会の人材育成事業

2016年8月3日

公益社団法人 日本建築積算協会

積算協会について

- ◆ 1975年 社団法人として設立
- ◆ 2012年9月 公益社団法人に移行
- ◇ 建築コストに関連する個人会員で構成
設計事務所、建設会社、積算事務所、
発注者（公共含む）、学識経験者他
- ◇ 正会員：3,615名（2016年5月）
賛助会員：108名
- ◇ 本部（東京都）
支部（北海道、東北、関東、東海北陸、関西、
中国四国、九州）

事業活動

1. 人材育成・認定事業

資格認定、学校教育、社会人教育

2. 調査研究・情報発信事業

コストマネジメント・環境・情報・国際活動
研究成果の出版(PCMシリーズ)

3. 評価・評定、相談事業

建築コスト等に関する評価評定

資格制度の沿革

- 1979年 建築積算士：民間資格として誕生
- 1990年 建築積算資格者：大臣認定創設
- 2001年 建築積算資格者：民間資格に移行
- 2006年 建築コスト管理士：最上位資格創設
- 2009年 建築積算士：名称変更
- 2009年 建築積算士補：認定校に講座開設
- 2013年 RICSと提携：Chartered QS

積算からコストマネジメントへの変革

1980年代

各職域で、設計段階でのコスト管理の重要性を認識

1990年代

大手ゼネコン・組織設計事務所で

設計時のコスト管理を実施

設計初期段階でのコスト管理の重要性を啓蒙

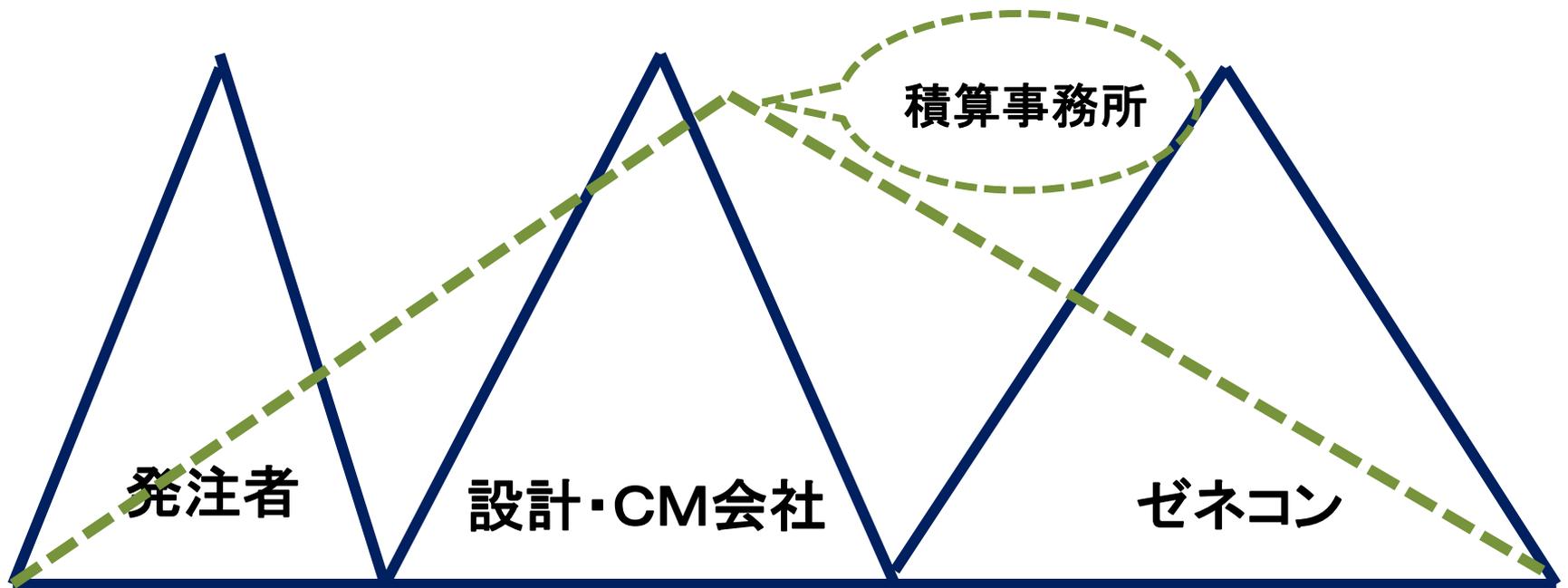
2000年代

数量積算主体からの脱却：建築コスト管理士

CM職能が発生：マネジメント分野の進化

コスト技術者の職域

多様な職域に存在する日本のコスト技術者



積算協会の資格制度

積算協会の認定資格

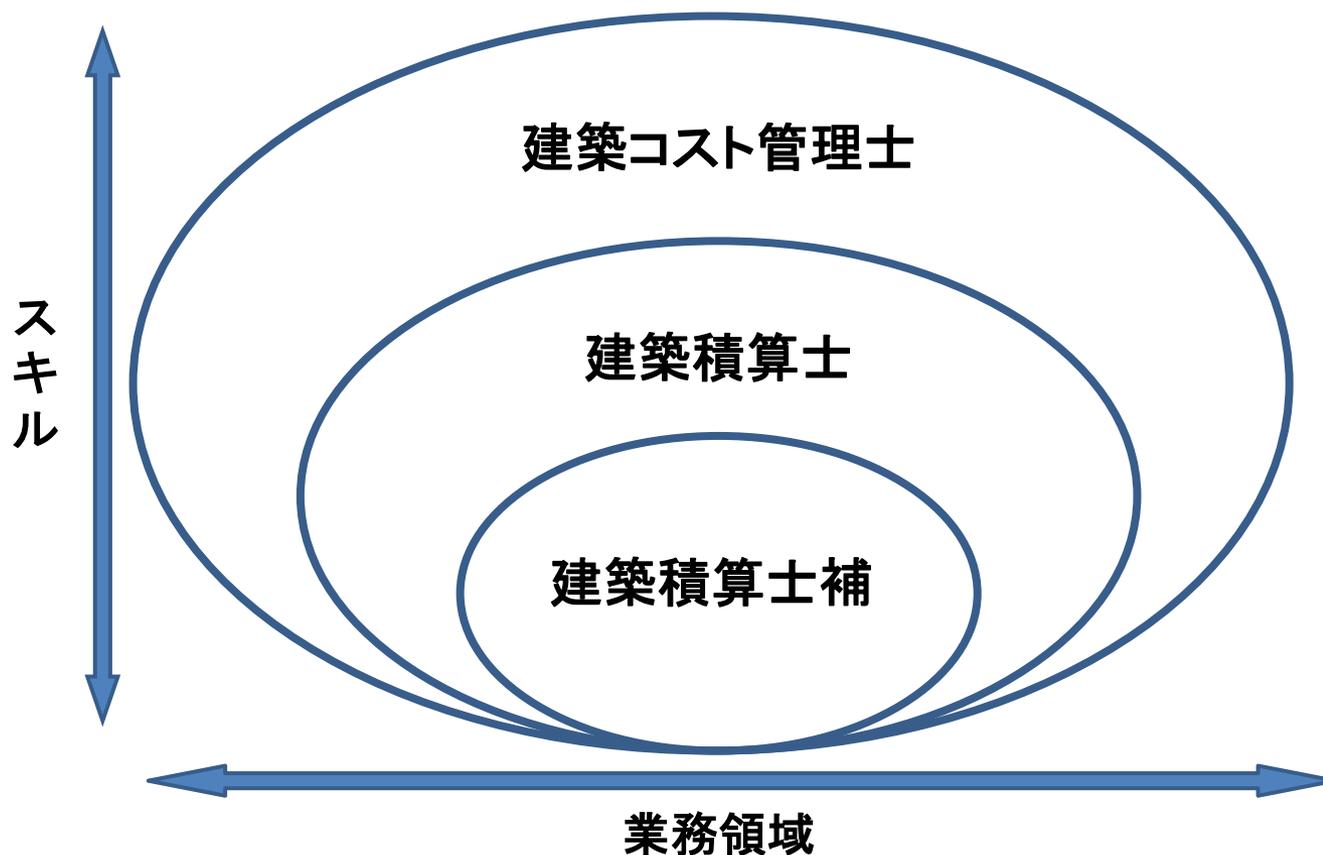
建築コスト管理士

建築積算士

建築積算士補

資格の定義と位置付け

上位資格へとスキルアップしていく『キャリアパス』形成



資格の特徴(1)

求められる技術と知識のみを規定
業務内容・業務領域についての具体的規程なし

社会経済および建設環境が厳しくなる



建設プロジェクトにおける
コストマネジメントのウエイトが増大する



将来的に、
活躍の場を広げ、活動レベルが大きく飛躍する

資格の特徴(2)

資格取得はゴールではなく
能力向上をはかっていくスタート地点である

生涯継続型支援事業



資格と教育研修パッケージによる
人材育成システム



CPD(継続能力開発)制度

建築積算士

沿革

- 1979年 民間資格として誕生
 - 1990年 大臣認定「建築積算資格者」
建設省告示第74号
 - 2001年 民間資格に移行
国土交通省告示第273号
 - 2009年 名称変更「建築積算士」
- 現在 約 11,000名

建築積算士の定義

建築生産過程における工事費の算定並びに
これに付帯する業務に関し、
高度な専門知識及び技術を有する専門家

建築積算士に求められる技術

建築工事分野の数量算出・工事費算定

建築積算士に求められる知識

建築生産プロセス、
工事発注スキーム(入札・発注方式・契約方式他)、
設計図書構成、工事費構成、積算業務内容、
建築数量積算基準、内訳書標準書式、
主要な市場価格、データ分析と積算チェック、
施工技術概要、LCC・VE概要、環境配慮概要

※ 数量算出のみならず、工事費算定から概算まで、
積算業務全般の専門家

建築コスト管理士

沿革

- 1980年代 コストマネジメントの重要性が認識されだす(ゼネコン)
- 1990年代 組織的なコストマネジメントが進められる(ゼネコン、設計事務所)
- 2000年代 コストマネジメントの重要性が広く認識されてくる
- 2006年 「建築コスト管理士」創設

現在 約 1,300名

建築コスト管理士の定義

企画・構想から維持・保全・廃棄にいたる
建築のライフサイクル全般に渡って、
コストマネジメント業務に関する
高度な専門知識及び技術を有する専門家

建築コスト管理士に求められる技術

各フェーズに応じた工事費その他費用の算定
コストプランニング、コストコントロール

建築コスト管理士に求められる知識

コスト情報収集・分析、
広範囲な市場価格（経済・建設産業・不動産他）、
発注戦略（発注与条件・契約・入札手続きと評価他）
調達戦略、フィジビリティスタディー、概算技法、
施工技術・工期算定、
LCC・VE及びFM・CM・PFIの概要、
環境配慮、建築関連法規、IT活用

※ 原則として、建築積算士に求められる知識を
包含する

建築コスト管理士とQS

平成25年3月 RICSと積算協会が提携覚書
建築コスト管理士がRICS入会可能に

QS: Chartered Quantity Surveyor 称号取得

QSとは

RICS正会員に与えられる称号

発注者の利益を守る独立した専門職能
コストコントロール、スケジュール管理、
リスク管理、発注・契約管理、支払管理
プロジェクト統括管理

建築コスト管理士と業務領域が重なる

RICSとは

1868年 The Institution of Surveyors 設立

1881年 Royal Charter(王立機関) 認可

1947年 Royal Institution of
Chartered Surveyors (RICS)

本部: 英国ロンドン

支部: 欧州、中東アフリカ、東アジア、東南アジア、
オセアニア、南アジア、北中南米、カリブ海
(世界146か国)

会員数: 約12万名 + 学生トレイニー6万名

土地から建物までの幅広い不動産関連職能団体
3つのジャンルと17の専門グループで構成

建築積算士補

学校教育の現状

過去、建築の経済性・コストについての教育は、ほとんどなされてこなかった

2009年 「建築積算士補」創設

コスト・積算に関する

基礎的な知識と意識を身につけた学生を
世に送り出す・・・人材育成の基盤

現在 約 3,100名

建築積算士補の定義

建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関して、基礎的知識を有するもの

建築積算士補に求められる知識

生産プロセス概要、工事発注スキーム概要、設定図書構成、工事費構成、積算業務・実務概要、LCC・VE概要

認定校と試験

認定校

積算協会指定のテキストと標準シラバス

その他必要条件

多様な教育機関(大学から専門学校まで)

現在 62校

認定校において「建築積算」講座を受講・終了

資格試験は認定校にて実施

合格後に資格登録

受講者 年間 約 3,000名

教育・研修については、
人材育成体系の中でお話しします。